

第 60 回 城西大学薬学部  
生涯教育講座 記念講演会  
要旨集



令和2年10月17日（土）  
午後2時00分～午後6時00分

# 第60回城西大学薬学部 生涯教育講座 記念講演会

日本薬剤師研修センター集合研修認定講座（2単位）

日時：令和2年10月17日（土） 14時00分～18時00分

会場：城西大学 22号館404教室

テーマ 「薬学から始まる心豊かなコミュニティ」

演題1 「薬剤師と管理栄養士による専門家集団薬局の意義」  
演者 株式会社フォーラル  
代表取締役社長 松村 達 先生 P.1

演題2 「薬局のかかりつけ機能強化の取組」  
演者 埼玉県保健医療部薬務課  
小林 昌代 先生 P.9

演題3 「何故、日本型ドラッグストアがここまで発展したのか？と  
これからのドラッグストアの役割」  
演者 株式会社セキ薬品 代表取締役会長  
関 伸治 先生 P.17

## 演題1

「薬剤師と管理栄養士による専門家集団薬局の意義」

演者 **松村 達 先生**

**株式会社フォーラル 代表取締役社長**

## 略 歴

松村 達（まつむら とおる）

### 【出生】

1956年 千葉県

### 【学歴】


1979年 明治薬科大学薬学部薬剤学科卒業

1998年 東京女子医科大学バイオメディカル-カリキュラム修了

2006年 日本大学大学院総合社会情報研究科（国際情報専攻）博士課程前期課程修了

### 【職歴】

病院勤務、医薬品卸会社勤務を経て、1991年、株式会社立田調剤薬局（現フォーラル）に入社し現在に至る





## 第60回 城西大学薬学部 生涯教育講座 記念講演会

テーマ『薬学から始まる心豊かなコミュニティ』

演題1「薬剤師と管理栄養士による専門家集団薬局の意義」

株式会社フォーラル  
松村達




1 



## フォーラル (FORALL) の概要 (すべての人のために)

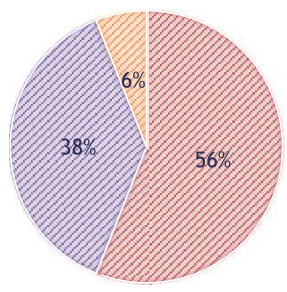
- ・事業内容：**薬局事業**  
19店舗 (東京・埼玉・神奈川・千葉)
- 教育事業** 新入社員研修・管理者育成・  
接遇対応・コミュニケーション・  
**栄養ビギナー・オーダーメイド**
- ・社員数：197名  
(**薬剤師110名**、**管理栄養士75名**、他12名)  
☆1店舗平均：**薬剤師6名**、**管理栄養士4名**


2 




## "専門家集団薬局"で新しい薬局の価値を創ろう！ (国家資格保有者は全社員の94%)

■ 薬剤師 ■ 管理栄養士 ■ その他



3 




## 専門家集団薬局化の動機は 30年前の調剤報酬と健康日本21


○ 当時の調剤報酬の例

処方内容

① 遮断薬	3錠	分3	毎食後	
② 漢方薬	3包	分3	毎食前	
③ 利尿薬	1錠	分1	朝食後	
④ 抗アレルギー剤	2錠	分2	朝夕食後	
⑤ H <sub>2</sub> ブロッカー	2錠	分2	朝食後・就寝前	
⑥ 睡眠薬	1錠	分1	就寝前	30日分

※ 内服薬調剤料 (1992年) 100点 剤数制限なし  
その他・・・調剤基本料、基準調剤加算、薬歴、外用、頓服等  
⇒調剤報酬700点以上 + 薬価差益20%以上


4 




## ○ 健康日本21 (第1次 2000年～)

- ・食生活、運動習慣等と深く関わりのある生活習慣病の増加に伴い寝たきりなどの要介護状態になってしまう人々の増加は深刻な社会問題となっている
- ・発病を予防する「一次予防」に重点を置く対策を強力に推進し、健康寿命の延伸を図っていく
- ・生活習慣病とその原因となる9つの領域


栄養・食生活	身体活動・運動	休養・こころ
たばこ	アルコール	歯の健康
糖尿病	循環器病	がん

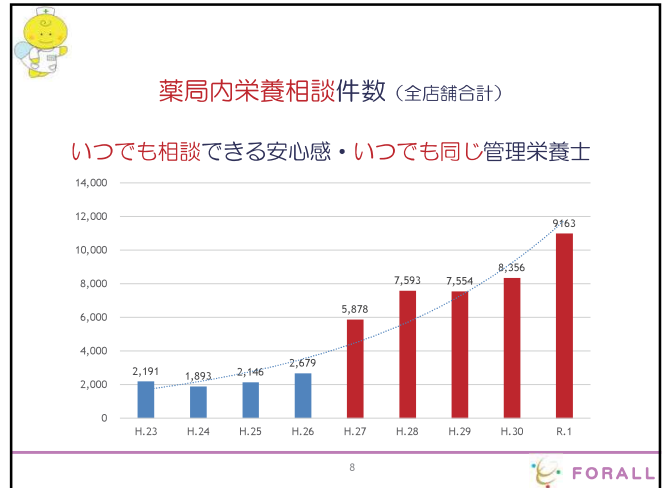
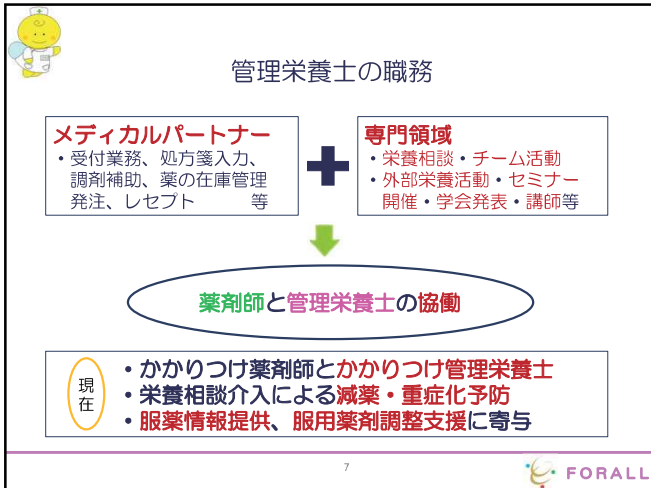
5 



## 【目指す企業像】

- ☆ フォーラルは、様々な活動を通して、地域社会・業界・教育機関・行政に、さらなる**好影響をもたらす企業**を目指します
- ☆ フォーラルは、社員が専門知識と経営能力を身につけ、医療制度改革・調剤報酬改定・業界環境の変化・消費者ニーズの変化等、あらゆる**変化に対応できる企業**を目指します
- ☆ フォーラルは、社員が個人・家庭・会社のバランスを持ちながら、仕事を通して**他者貢献に幸せを感じ**、人生の「いま、ここ」を**イキイキと生きることができる企業**を目指します

6 

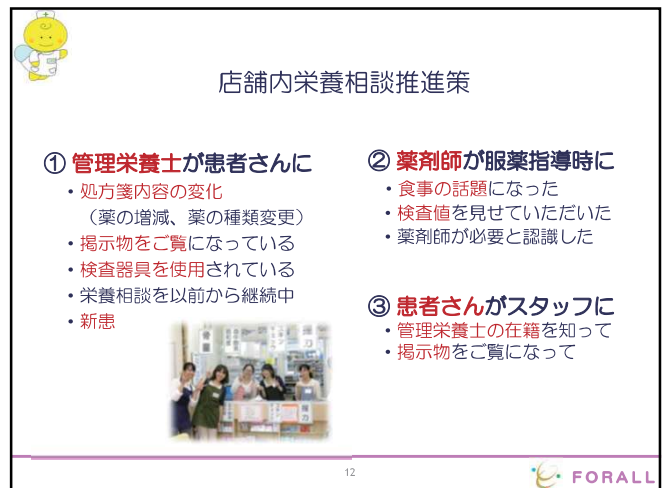
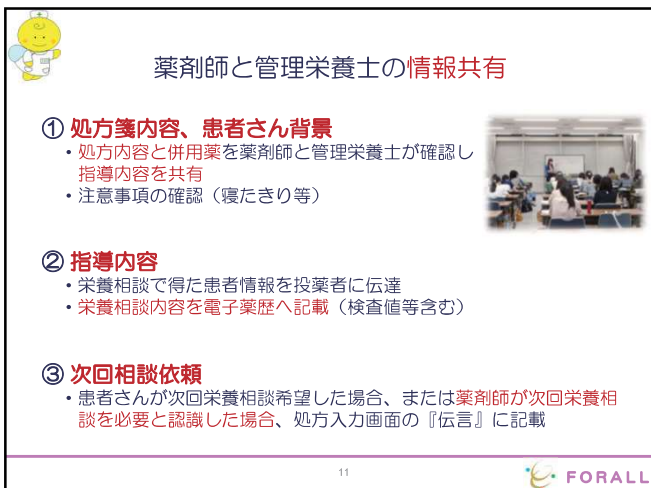


### 媒体の活用

毎月発行


メーカー冊子

10 FORALL



## 教育制度


- **栄養指導担当者認定試験**
  - ・筆記試験
  - ・応対試験（現在は店舗で実施）
- **社内試験**
  - ・出題内容：薬、食事療法、保険
- **社内勉強会**
  - ・NC、栄養スキルアップ、外部栄養指導勉強会、ケーススタディ
- **問題配信**
  - ・栄養全般



13 FORALL

## 社内勉強会

- **NCニュートリショナルカレッジ** 発表者は入社2～3年目
- **栄養スキルアップ講座** 基礎的知識を身につける
- **外部栄養指導勉強会** 外部活動をできる力量UP  
病院の管理栄養士と対等に話せる力を養成




14 FORALL

## ケーススタディ

社内社外問わず、**管理栄養士と薬剤師**が集まり、  
実際の症例をもとに**症例検討**を行う勉強会

【講師】  
フォーラルスタッフ  
(マネジャー)

【症例内容】  
糖尿病  
脂質異常症 等



15 FORALL

## チーム活動

**広報**



**栄養相談向上**



**学術・教育**



**データ化**

相談目的



- 食生活の評価 45%
- 食品の選び方 40%
- その他 15%

**セミナー・学会**



16 FORALL

## 外部栄養活動

自治体と連携したイベント  
4件/年



総合事業  
訪問型サービス  
76回/年



特定保健指導  
303件/年



介護予防  
日常生活支援総合事業  
53回/年



17 FORALL

## セミナールール

本社

ホームセミナー  
店舗

- ① お金をいただかない
- ② 商品を販売しない
- ③ 薬局を宣伝しない

幼稚園

小学校

児童館

アウトレイジセミナー


居宅介護支援事業所

高齢者施設

公民館

高齢者みまもり相談室

オレンジカフェ



FORALL

アウトリーチセミナー (76テーマ)

① 薬の基本シリーズ (3)

- ・知っておきたい薬のお話し (薬)
- ・外用薬のすすめ (薬)
- ・お薬いろいろ (薬)

② 疾患別シリーズ (6)

- ・高血圧 (薬+栄)
- ・糖尿病 (薬+栄)
- ・骨粗鬆症 (薬+栄)
- ・脂質異常症 (薬+栄)
- ・肺疾患 (薬)
- ・胃腸疾患 (薬+栄)

③ 予防シリーズ (12)

- ・メタボにならないために (薬+栄)
- ・病気をしない！今できること (薬+栄)
- ・ロコモにならないために (薬+栄)
- ・手洗い・うがいの極意 (栄)
- ・夏バテ予防 (栄)
- ・注目！新型栄養失調 (栄)
- ・お酒と肝臓 (薬+栄)
- ・これで便秘解消 (栄)
- ・今からできる頻尿予防 (薬)
- ・かくれ脱水に注意 (栄)
- ・みんなで免疫カアップ (栄)
- ・足のつり大丈夫？ (薬+栄)

19 FORALL

アウトリーチセミナー

④ 検査シリーズ (8)

- ・早めに知ろう！血管年齢 (薬+栄)
- ・血圧の正しい測り方 (薬)
- ・早めに知ろう！骨密度 (薬+栄)
- ・糖尿病の検査 (薬+栄)
- ・肺機能の検査 (薬)
- ・脂質異常症の検査 (薬)
- ・認知症の検査 (薬+栄)
- ・メタボリックシンドローム (薬+栄)

- ・せっけん (AA)
- ・アロマオイル (AA)
- ・ルームスプレー (AA)

⑥ 健やか美人シリーズ (6)

- ・美人の素 調味料-糖- (栄)
- ・美人の素 調味料-塩- (栄)
- ・美人の素 調味料-油- (栄)
- ・スキンケア (栄)
- ・乳酸菌 (栄)
- ・口腔ケア (栄)

⑤ アロマシリーズ (5) (AA:アロマアドバイザー)

- ・クレイバック スキンローション (AA)
- ・バスリルト バスボム (AA)

20 FORALL

アウトリーチセミナー

⑦ 栄養シリーズ (7)

- ・はじめての離乳食 (栄)
- ・簡単！お弁当づくり (栄)
- ・しっかり食べよう朝ごはん (栄)
- ・カロリー知って健康生活 (栄)
- ・いくつになって栄養は必要 (栄)
- ・誤嚥性肺炎のリスクを減らそう (栄)
- ・塩分のお話 (栄)

- ・便利なお薬管理の仕方 (薬)
- ・家族が認知症になったとき (薬+栄)
- ・褥瘡ケアの大切さ (薬+栄)
- ・栄養剤 (薬+栄)
- ・飲み込みできますか？ (栄)
- ・栄養バランスの良い食事 (栄)
- ・できていますか？口腔ケア (栄)
- ・体いきいき体操 (薬+栄)

⑧ 高齢者いきいきシリーズ (11)

- ・知って安心！介護保険 (薬+栄)
- ・利用しよう！居宅療養管理 (薬+栄)
- ・ガンの痛みのコントロール (薬)

⑨ その他 (18)・・・

担当テーマ数 78  
薬剤師 40  
管理栄養士 59

21 FORALL

アウトリーチセミナー

薬局を飛び出し、地域のいろいろなところで  
専門家が情報提供

22 FORALL

自治体開催セミナー (ら館まつり)

【実施内容】

体組成・血圧計・ロコモ診断・  
脳年齢測定・肌チェック・栄養相談

管理栄養士が参加者と  
ペアになってブースを  
回る

23 FORALL

自治体開催セミナー (まるごとミュージアム)



【実施内容】

体組成・アロマづくり体験・ロコモ診  
断・脳年齢測定・肌チェック・栄養相談



24 FORALL



自治体開催セミナー  
(子育てメッセ)

**【実施内容】**  
薬剤師によるお薬バック体験  
管理栄養士によるお箸つかみゲーム  
栄養相談

25 FORALL

自治体開催セミナー  
(区民まつり)




**【実施内容】**  
こうとういきいき体操（地域ケア推進課）ブースで、食事指導を担当



26 FORALL



大学のお招きで講義




栄養ヒグナー講座




学会ポスター発表



27 FORALL




フォーラル認定制度  
(認定管理栄養士)



- 社内試験結果
- 栄養相談件数
- かかりつけ管理栄養士件数
- 学会発表に採用された症例数
- 特定保健指導件数
- 介護予防回数
- 総合事業回数
- 服用薬剤調整支援料件数
- 地域ケア会議出席件数
- 担当者会議出席件数
- 勉強会参加回数
- 勉強会講師回数
- 学会発表回数
- セミナー講師回数
- トレーナー加算
- 新入社員トレーニング
- キャリア社員トレーニング
- プロジェクトチーム
- 資格を活かした活動

ポイントにより、☆☆¥5,000・☆☆☆¥10,000・☆☆☆☆¥20,000（月額）

28 FORALL




かかりつけ薬剤師&かかりつけ管理栄養士  
あなたの健康をサポートする

**専属の薬剤師・管理栄養士を持ちませんか？**


これから成長するにつれて起こりうる困り事や疑問…  
専属の薬剤師と管理栄養士がチームとなって  
生まれてから大きくなるまでを見守っていきます！  
医療証があるうちはお会計なども物にはかかりません。

お子様でも  
かかりつけ薬剤師を持つことができます。




ご家族と一緒にお子様の成長をサポートします！

29 FORALL



宝箱



- ☆ 新患さんに「栄養コラム」を使用して栄養相談のお声がけをしたところ、「薬局に管理栄養士がいるのは、ここが初めて。離乳食のことも訊いていい？助かるわ」と言ってくれました。今後も頼りにしていただけるよう頑張ります。
- ☆ 「おうちで栄養診断」対象者のお宅に3回目の訪問に向いました。初回はやる気が見られず、とても心配していたのですが、先日「アドバイスを実行するよ」と言ってくれたり、浮腫が良くなったと、医師からケアマネさんに連絡があったそうです。うれしかったです。
- ☆ 「最近太ってしまって・・・」と栄養相談した患者さんが1週間分の食事記録を持って、食事相談のためだけにいらっしゃいました。処方箋のついでではなくお越しいただいて、嬉しかったです。

30 FORALL



## 宝箱



- ☆ 薬剤師と管理栄養士が「電話フォロー」している、ダブルかかりつけの患者さんが、「便通の調子がとても良い」と嬉しそうに話してくださいました。薬の種類も減って、私たちもうれしかったです。
- ☆ 電話で薬と食事についてご質問をいただいた患者さんから「分かりやすく説明してくれてありがとう。とても助かったわ」と言っていただきました。薬剤師と管理栄養士で連携してフォローできたので、そう言っていただけて、うれしかったです。
- ☆ 薬剤師と管理栄養士がかかりつけをセットで対応している患者さんに、抗がん剤の副作用による口内炎の栄養相談を行ったところ、とても喜んでいただきました。薬剤師が投薬後フォローにより副作用の口内炎に気づき、管理栄養士がスムーズに対応できました。これからも連携を図り食事面からサポートしていきます。

31



## まとめ

- ☆ 薬剤師と管理栄養士の協働により、**薬局の機能に多様性**が生まれ、**薬局の新たな価値の創造**につながると考えられます
- ☆ 薬剤師と管理栄養士の協働により、仕事を通して自らが人の役に立っているという**他者貢献感**がいっそう高まり、社員一人ひとりが**自らに価値があることを実感**することにつながると考えられます



32



## 演題2

### 「薬局のかかりつけ機能強化の取組」

**演者**      **小林 昌代 先生**

**埼玉県保健医療部薬務課  
総務・温泉・薬事相談担当 主幹  
薬剤師**

## 略 歴

小林 昌代（こばやし まさよ）

埼玉県保健医療部薬務課 総務・温泉・薬事相談担当 主幹  
薬剤師

### 【学歴】

昭和 63 年 3 月

金沢大学薬学部薬学科卒業

### 【職歴】

平成元年 5 月

福井県庁入庁 小浜保健所 保健予防課（検査担当）配属

平成 3 年 4 月

埼玉県庁入庁 越谷保健所 衛生課（薬事監視員）配属

以降、草加保健所、春日部保健所、川口保健所、幸手保健所及び薬務課で環境衛生監視員、  
食品衛生監視員、薬事監視員、麻薬取締員などに従事

平成 30 年 4 月から現職

## 薬局のかかりつけ機能強化の取組



埼玉県マスコット「コバトン」



埼玉県マスコット「いいまちらし」

### 埼玉県保健医療部薬務課

## 埼玉県における薬事行政の概要

### ■ 埼玉県保健医療部薬務課のご紹介

#### 総務・温泉・薬事相談担当

- ☑ かかりつけ薬剤師・薬局の推進
- ☑ 温泉の許可・監視
- ☑ 災害用備蓄医薬品・危機管理に関すること
- ☑ お薬相談 など

#### 薬物対策・献血担当

- ☑ 危険ドラッグ対策、薬物乱用防止の啓発
- ☑ 毒物劇物取締法に関すること
- ☑ 献血の推進 など

#### 販売指導担当

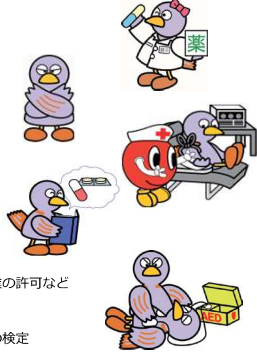
- ☑ 薬局、医薬品販売業に関すること
- ☑ シネレリック医薬品の使用促進
- ☑ インフルエンザワクチン等の安定供給 など

#### 医薬品化粧品生産指導担当

- ☑ 医薬品、医薬部外品、化粧品の製造販売業・製造業の許可など

#### 医療機器等生産指導担当

- ☑ 医療機器等の製造販売業・製造業の許可、医薬品の検定
- ☑ AEDの普及促進 など



### ■ 埼玉県の薬事行政の概要

#### 1 埼玉県の特徴

##### 日本の「元気」と「キレイ」を支える埼玉県

埼玉県は医薬品等の製造業が多く、全国有数の生産県となっています。埼玉県産の医薬品が日本全国、ひいては世界中に流通することから、医薬品等の品質確保、安全対策が重要となってきます。

#### 2 医薬品等の安全対策

- (1) 医薬品等の品質及び安全性等の確保
- (2) 医薬品等の正確な情報提供
- (3) 血液製剤の安定供給
- (4) 薬物乱用防止対策の推進

県の薬事行政は、医薬品医療機器等法などの法令に基づく許認可・監視といった規制指導業務と医薬品の正しい使い方の普及啓発業務に大別されます。医薬品等の許認可業務は、近年、国の権限委譲が進み、医薬品等の製造に関する県薬事行政の責任と役割が大きくなってきています。

また、人口の少子高齢化が進展する中で、若年層の献血離れが進んでいます。血液製剤の需要は増加しています。医療に必要な血液を安定的に確保するため、若年層の献血推進に積極的に取り組んでいます。

一方、麻薬、覚醒剤等の薬物乱用が若年層にも広がりを見せています。このため若者の薬物乱用防止啓発に積極的に取り組んでいます。

#### 3 危機管理対策

- (1) 災害用備蓄医薬品の確保
- (2) AEDの普及推進
- (3) 緊急用血清類の確保

本県では、全国に先駆け、平成18年度から突然の心停止から県民の命を救うため、AEDの普及推進に取り組んでいます。



近くにあるAEDを探そう！  
(埼玉県内に限ります)

### ■ 日本の「元気」と「キレイ」を支える埼玉県

#### (1) 医薬品生産額 全国第6位

1位	静岡県	6,721億円
2位	富山県	6,246億円
3位	大阪府	5,069億円
6位	埼玉県	3,456億円

(出典：平成30年厚生労働省 薬事工業生産動態統計年報)



#### (2) 化粧品生産額 全国第1位

1位	埼玉県	2,505億円
2位	滋賀県	1,982億円
3位	神奈川県	1,948億円

(出典：令和元年度経済産業省 生産動態統計年報 化学工業統計編)



#### (3) 医療機器生産額 全国第6位

1位	静岡県	3,587億円
2位	栃木県	2,001億円
3位	東京都	1,575億円
6位	埼玉県	1,028億円

(出典：平成30年厚生労働省 薬事工業生産動態統計年報)



### ■ 埼玉県の設置する保健所の組織

#### 広域調整担当 (南部・春日部・狭山・熊谷)

- ☑ 健康危機管理に関すること
- ☑ 救急医療や地域医療連携など医療提供体制の整備など

#### 総務・地域保健推進担当

- ☑ 調理師や栄養士などの免許など
- ☑ 地域保健に係る統計業務
- ☑ 病院などの許可や立入検査など

#### 保健予防推進担当

- ☑ 健康づくり事業の企画や実施
- ☑ 健康相談、精神保健福祉相談
- ☑ 母子保健、栄養指導
- ☑ 難病対策、結核・肝炎・感染症対策など

#### 生活衛生・薬事担当

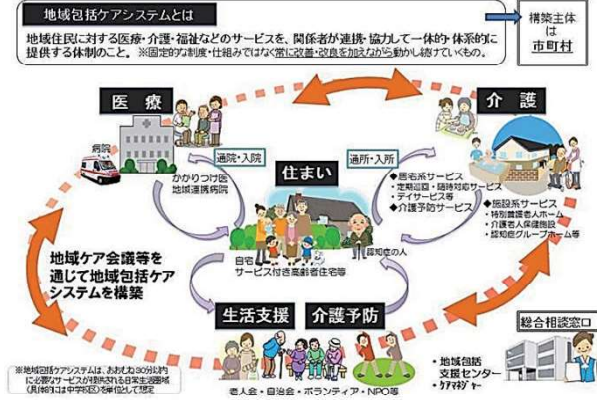
- ☑ 食品営業許可、食品営業施設の監視指導
- ☑ 食中毒の処理
- ☑ 理美容所・クリーニング・旅館・公衆浴場等の営業許可及び監視指導など
- ☑ 薬事衛生業務
- ☑ 狂犬病予防、動物取扱業の登録など
- ☑ 水道事業の許可、飲用水の水質検査など

#### 食品監視担当 (南部・春日部・狭山・熊谷)

- ☑ 食品営業施設などの専門的な監視指導、立入検査、行政処分など

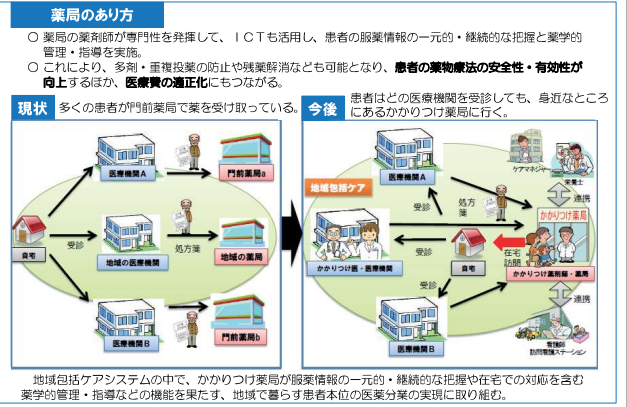
## 地域包括ケアシステムとは？

## 地域包括ケアシステムの全体像

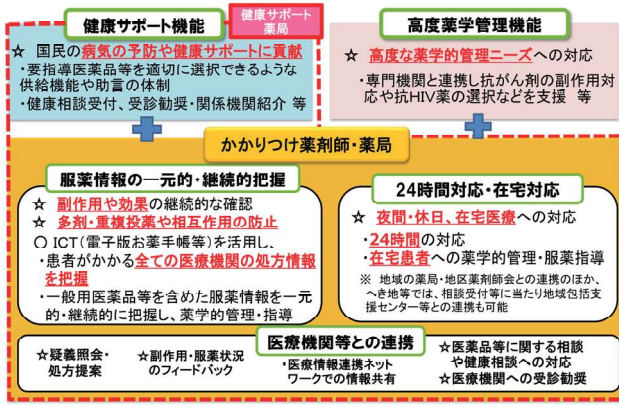


## 薬局のかかりつけ機能の強化

## 患者のための薬局ビジョン(平成27年10月公表)



## 患者のための薬局ビジョン(平成27年10月公表)



## 患者のための薬局のかかりつけ機能強化推進事業

- 【かかりつけ薬剤師・薬局に求められる3つの機能】
- ① 服薬情報の一元的・継続的把握とそれに基づく薬学的管理・指導
  - ② 24時間対応・在宅対応
  - ③ かかりつけ医をはじめとした医療機関等との連携強化
- 【埼玉県が実施した薬局のかかりつけ機能の強化を図るための事業】
- かかりつけ薬局コミュニティネットワークの創設（ウェブ版）
  - ポリファーマシー対策のモデル事業
  - 在宅医療を提供する薬剤師の育成（OJT同行訪問、ステップアップ研修、無菌調剤研修）
  - 終末期医療で使用する医薬品・医療材料の適正供給の支援
  - 多職種連携強化（模擬地域ケア会議、緩和ケア症例検討会）
  - 薬局薬剤師と病院薬剤師による地域連携（薬業連携）の強化（医療機関から提供される検査値の薬局における活用のための研修、抗がん剤化学療法等に関する研修、退院時共同指導・入院時の患者の情報提供のあり方の検討）
  - 認知症対応薬局の推進（認知症対応力向上研修）

## 患者のための薬局のかかりつけ機能強化推進事業

INSUITE Enterprise | 埼玉県薬剤師会

事業報告

ホーム > 風業剤師会情報 > 事業報告

令和元年度患者のための薬局のかかりつけ機能強化推進事業

- ① 認知症対応薬局の推進(PDF)
- ② 服薬期間を通じた支援の状況(PDF)
- ③ ポリファーマシー対策の推進(PDF) [【資料編】](#)

糖尿病早期発見受診支援事業

- ① 平成29年度 (PDF)
- ② 平成28年度 (PDF)

## ポリファーマシー対策のモデル事業

目的 複数の疾患を抱え多剤を処方される高齢者を対象に、薬剤師が他職種と連携してポリファーマシー対策を実施し、患者本位の安全な薬物療法と医療費の適正化を推進する。

方法 ① モデル事業の実施(2地区)【保険者・地域医師会・地域薬剤師会・大学の連携】

効果 患者本位の安全な薬物療法の確保

タイムスケジュール

- 令和元年6月 地区合同連携会議開催、覚書締結、モデル事業開始(～令和2年2月)
- 令和元年11月 全体研修会開催、アンケート調査実施
- 令和2年1月 アンケート集計
- 令和2年3月 報告書作成

処方の再検討、ポリファーマシーの解消

## ポリファーマシー対策のモデル事業

埼玉県 朝霞地区薬剤師会

埼玉県委託事業「10種類以上のお薬を服用する方の相談事業」

- 令和元年度 事業報告書
- 平成30年度 事業報告書
- 令和元年度 対象患者の皆様へ(案内チラシ)

## 県政サポーターアンケート「かかりつけ薬剤師・薬局について」

## 県政サポーターアンケートの実施結果

第160回簡易アンケート「かかりつけ薬剤師・薬局について」の結果を公表しました。

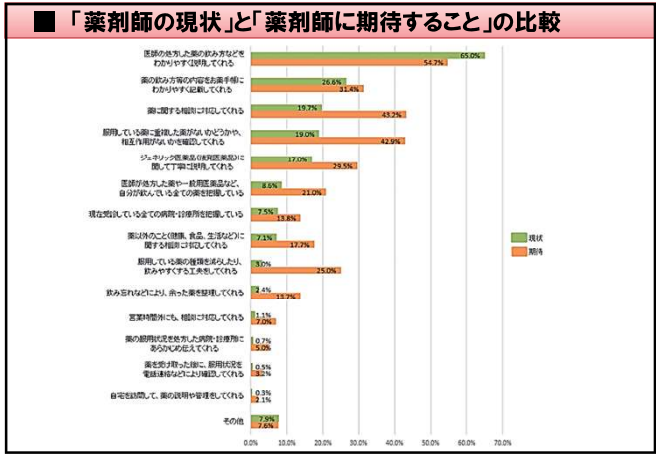
1.調査の概要

④ 調査形態

- 調査時期: 令和2年6月4日(水曜日)～6月10日(水曜日)
- 調査方法: インターネット(アンケート専用フォームへの入力)による匿名
- 対象者: 県内在住県民サポーター(2,680名)
- 回収率: 72.6%(回収数1,946名)
- 対象者の属性: (百分率表示は、小数点以下第二位を四捨五入したため、必ずこの率の合計は、100%にならない場合がある。)

	人数(人)	比率(%)
全体	1,946	100.0

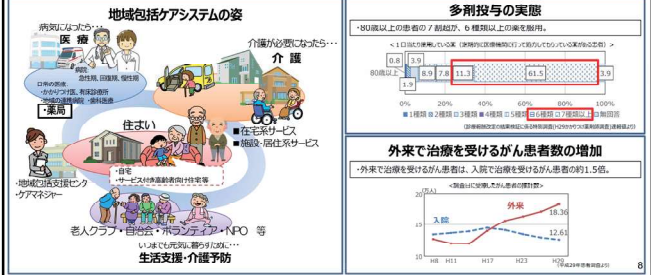
性別	人数(人)	比率(%)
男性	1,058	59.1%
女性	733	40.9%



## 医薬品医療機器等法改正 ～地域連携薬局～

### 薬剤師・薬局を取り巻く環境の変化

- 近年、高齢化が進み、新薬の開発が進む中、多剤投与による副作用の懸念の高まり、薬物療法において特に副作用に注意を要する疾病（がん、糖尿病等）を有する患者の外来治療へのシフトなどが見られる。
- 医療機関の機能分化、在宅医療や施設・居住系介護サービスの需要増等が進捗する中で、患者が地域で様々な療養環境（入院、外来、在宅医療、介護施設など）を移行するケースが増加している。
- 薬剤師・薬局は、このような状況の変化に対応し、地域包括ケアシステムを担う一員として、医療機関等との関係機関と連携し、その専門性を発揮し、患者に安全かつ有効な薬物療法を切れ目なく提供する役割を果たすことが求められている。



### 薬剤師の業務に関する規定の見直し ー対人業務の充実ー

**主な対人業務**

- 処方内容のチェック（重複投与・飲み合わせ）、処方提案
- 調剤時の情報提供、服薬指導
- 調剤後の継続的な服薬指導、服薬状況等の把握
- 服薬状況等の処方医等へのフィードバック
- 在宅訪問での薬学的管理

**主な対物業務**

- 処方箋受取・保存
- 調製（秤量、混合、一包装）
- 薬後の作成
- 監査（交付する薬剤の最終チェック）
- 薬剤交付
- 在庫管理

**調剤時に加えて、調剤後の服薬指導、継続的な服薬状況等の把握も義務として規定**

**努力義務として規定**（医薬法においても、医師から薬剤師等に対して同様の規定あり）

**調剤後に患者情報を継続的に把握する取組を行っていた良かったこと**

項目	割合
副作用の早期発見ができた	43.5%
調剤ミスに気づいた	62.6%
患者の服薬状況に応じて、飲み方の工夫な服薬指導し、アドバンスが向上した	72.9%
次の処方内容が変更になった	32.6%
その他	1.4%
特に気づかされたことはない	1.7%
無回答	0.6%

### 特定の機能を有する薬局の認定

○ 薬剤師・薬局を取り巻く状況が変化する中、患者が自身に適した薬局を選択できるよう、以下の機能を有すると認められる薬局について、都道府県の認定により名称表示を可能とする。

- ・入院時の医療機関等との情報連携や、在宅医療等に地域の薬局と連携しながら一元的・継続的に対応できる薬局（**地域連携薬局**）
- ・がん等の専門的な薬学管理に関係機関と連携して対応できる薬局（**専門医療機関連携薬局**）

**地域連携薬局**

医療機関（入院患者）との連携、在宅医療等との連携、地域連携薬局の連携、がん等の専門医療機関との連携、がん等の専門医療機関との連携、がん等の専門医療機関との連携

**専門医療機関連携薬局**

がん等の専門医療機関との連携、がん等の専門医療機関との連携、がん等の専門医療機関との連携

**（主な要件）**

- ・関係機関との情報共有（入院時の持参薬情報の医療機関への提供、退院時処方箋への告知等）
- ・医療・検査の対応を含めた地域の調剤店連携体制の構築・参画
- ・地域包括ケアに関する研修を受けた薬剤師の配置
- ・在宅医療への対応（服薬調剤の対応等）

## 新型コロナウイルス感染症に関する 薬局への支援

### 新型コロナウイルス感染症に関する薬局への支援

**【薬局における電話や情報通信機器による服薬指導等支援事業】**（埼玉県）

埼玉県内の薬局が、「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の限定的・特例的な取扱いについて」（令和2年4月10日厚生労働省医政局医事課、医薬・生活衛生局総務課事務連絡）等の取扱いにしたがって電話等による服薬指導等を実施した場合の費用の一部を補助します。（1回1,000円、1薬局最大10回分まで）

**【薬局における薬剤交付支援事業】**（埼玉県薬剤師会）

電話等による服薬指導等を実施した場合の配送料等を支援します。なお、電話や情報通信機器による服薬指導等の検証のために必要な情報を報告していただきます。

**【新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（医療分）】**（埼玉県）

「医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大と収束が反復される中、薬局での感染拡大を防ぎながら地域で求められる医療を継続して提供できるよう、感染拡大を防ぐための取組を行うために要する費用の補助を行います。（薬局の上限：70万円）

**【新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（介護分）】**（埼玉県）

「介護施設（事業所）に勤務する職員に対する慰労金の支給」

健康保険法に基づく保険薬局に指定された薬局については、居宅療養管理指導（介護予防）のサービスについて介護保険法における指定事業者とみなされます。



**新型コロナウイルス感染症に関する薬局への支援**

http://www.pref.saitama.lg.jp/c0007ukujakushidou/shen.html?pagePrint=1

総合トップ > 健康・福祉 > 医療 > 薬事 > 新型コロナウイルス感染症に関するページ

掲載日：2020年8月20日

**新型コロナウイルス感染症に関するページ**

**薬局に係る支援事業一覧**

- 薬局における電話や情報通信機器による販薬指導等支援事業
- 薬局における薬剤交付支援事業
- 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（医療分）
- 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（介護分）

**薬局における電話や情報通信機器による販薬指導等支援事業**

埼玉県では、電話や情報通信機器による販薬指導を実施した薬局を支援するため、医療機関におけるオンライン・電話による診察後、薬局で電話や情報通信機器による販薬指導等を行った場合に、その費用の一部を補助することとしました。

**事業の概要**

(1) 事業実施主体

**ご清聴ありがとうございました！**





### 演題3

「何故、日本型ドラッグストアがここまで発展したのか？と  
これからのドラッグストアの役割」

演者 **関 伸治 先生**

**株式会社セキ薬品 代表取締役会長**

## 略 歴

関 伸治 (せき のぶはる)

### 【学歴】

1983年 3月

城西大学 薬学部 製薬学科卒業

### 【職歴】

1983年 4月 ヒグチ産業株式会社 入社

1983年 1月 ヒグチ産業株式会社 退社

1983年 1月 有限会社関薬品 入社

有限会社関薬品 専務取締役就任

1992年 12月 株式会社セキ薬品へ組織変更

1997年 12月 株式会社セキ薬品 代表取締役社長就任

2020年 6月 株式会社セキ薬品 代表取締役会長就任

### 【活動】

城西大学 評議員

城西大学 薬友会会長

日本ドラッグチェーン会 (NID) 会長

一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 (JACDS) 東日本ブロック長  
法制委員長

## 抄 録

ドラッグストアが日本に誕生したのは、今から約 30 年ほど前といわれています。

従来まであった薬局・薬店いわゆる「くすり屋」とは異なったドラッグストアですが、アメリカのドラッグストアを模倣しつつ、独自の発展を遂げました。

日本型ドラッグストアは、薬・化粧品だけでなく雑貨（日用家庭用品、文房具など）、特に需要の高い食品を取り扱った比較的規模の大きな店舗が出来るようになり、こうした店舗が都心や郊外の住宅地などにどんどん出店するようになりました。

店内も綺麗で明るく、数多くの商品が置いてあり気軽に買い物ができることから若い世代や主婦層の評判となりました。それは健康でいたい、綺麗でいたい、便利に使用したいという人々の要望を満たすことができたからであります。

私は、幸いにもドラッグストアの始まり（1990 年頃）より業界に携わり共に成長してまいりました。

ドラッグストアを取り巻く環境は、他業種からの参入などにより競争が激化する中、各企業による差別化対策に加え、国策による地域包括ケアシステムの推進を受けてセルフメディケーションの機運が高まったことから、今後はドラッグストアならではの医療分野に関する専門性が必要とされるようになりました。

業界の成り立ち、変化、そして期待へ。

時代と共に変化する消費者ニーズへの対応などを踏まえ、ドラッグストアの役割についてご紹介したいと思います。

薬学部生涯教育講座テーマ・演者一覧 (過去10回)

第50回	<p><b>記念講演</b></p> <p>「輝ける薬学・薬剤師の未来に向けて～医療現場と薬系大学の立場から～」 京都薬科大学 乾 賢一</p>
第51回	<p><b>メインテーマ生活習慣病の薬物治療－脂質異常症－</b></p> <p>「肥満と健康食品」 城西大学薬学部 古旗 賢二</p> <p>「脂質異常症の薬物療法」 帝京大学医学部 寺本 民生</p>
第52回	<p><b>メインテーマ「在宅医療における薬剤師と管理栄養士との連携」</b></p> <p>「在宅医療における多職種連携の意味 －薬物の食事・運動・排泄・睡眠への影響から－」 ウエルシア薬局株式会社 澤田 康裕</p> <p>「在宅における管理栄養士業務」 霞ヶ関中央クリニック 前田 薫</p> <p>「医療・介護に求められる管理栄養士 -訪問薬剤師の立場から-」 城西大学薬学部 大嶋 繁</p>
第53回	<p><b>メインテーマ「ロコモティブ シンドローム」</b></p> <p>「コラーゲンペプチドと骨・軟骨：エビデンスはあるのか？」 城西大学薬学部 真野 博</p> <p>「ロコモティブシンドロームと運動器のアンチエイジング」 医療法人財団順和会山王病院整形外科 国際医療福祉大学 中村 洋</p>
第54回	<p><b>メインテーマ「在宅医療の今後を語る-管理栄養士および薬剤師に対する期待」</b></p> <p>「確実に分かる未来に備えて」 厚生労働省政策統括官付 社会保障担当参事官室 政策企画官 山下 護</p> <p>「在宅医療にかかわる薬局薬剤師の役割と今後の展望」 一般社団法人 埼玉県薬剤師会 常務理事 池田 里江子</p> <p>「在宅訪問栄養食事指導の実際」 医療法人社団福寿会 福岡クリニック在宅部栄養課 課長 中村 育子</p>
第55回	<p><b>メインテーマ「糖尿病治療の新展開－新しい治療薬の評価と栄養教育－</b></p> <p>「糖尿病治療薬の特徴とエビデンス ～新規治療薬の登場で何が変わったか～」 城西大学薬学部生理学講座 加園 恵三</p> <p>「血糖値を上げない食事のとり方 ～低Glycemic Index食の活用法～」 城西大学薬学部医薬品安全性学講座 金本 郁男</p> <p>「糖尿病患者の実態と当院における糖尿病透析予防指導」 加藤内科クリニック 加藤 則子</p>
第56回	<p><b>メインテーマ「睡眠障害の治療を考える－新しいアプローチ、新薬とサプリメントの活用－</b></p> <p>「日本から世界へ ～新しい作用機序の睡眠薬スロレキサント開発から適正使用まで～」 MSD株式会社グローバル研究開発本部 クリニカルリサーチ領域 領域長 田中 宜之</p> <p>「夜間頻尿に伴う不眠症治療～薬剤師、管理栄養士に知ってほしい最近の話題から～」 城西大学薬学部臨床病理学講座 太田 昌一郎</p> <p>「認知症のかんたん診断と治療」 池袋病院副院長 平川 亘</p>
第57回	<p><b>メインテーマ「肝炎・肝硬変の治療を考える－肝疾患に立ち向かうチーム医療の実際」</b></p> <p>「肝移植とチーム医療」 名古屋大学附属病院 移植外科 大西 康晴</p> <p>「今さら聞けないチーム医療のABC」 日本赤十字社 武蔵野赤十字病院 薬剤部 松木 美幸</p> <p>「チーム医療における管理栄養士の役割」 日本赤十字社 武蔵野赤十字病院 栄養科 佐々木 佳奈恵</p>
第58回	<p><b>メインテーマ「消費者のためのセルフメディケーションに薬学者ができることは？」</b></p> <p>「セルフメディケーションの本来の意味は？ ～医薬品の視点で～ －行政、ビジネス、消費者視点における課題－」 全薬工業株式会社製品企画部 部長 武原 正明 先生</p> <p>「健康寿命延伸のためのサプリメント・健康食品の臨床的意義－セルフメディケーションにおける適正使用に向けた現状と課題－」 株式会社DHC特別研究顧問 健康科学大学 教授 蒲原 聖可 先生</p> <p>「化粧品と医薬部外品、医薬品の違いは？また、それらを有効に安全に使うために知っておくべきことは？」 日本赤十字社 武蔵野赤十字病院 城西大学薬学部薬科学科 教授 徳留 嘉寛 先生</p>
第59回	<p><b>メインテーマ「うっかりドーピングからアスリートを守るためには－アンチドーピング活動とスポーツ内科の現状－</b></p> <p>「スポーツドーピング対応の基礎について」 株式会社アトラク 代表取締役社長 遠藤敦 先生</p> <p>「薬局におけるアンチドーピング相談事例とスポーツファーマシストの活動について」 株式会社ファークス 對崎 利香子 先生</p> <p>「スポーツ内科診療とその現状」 関西労災病院 糖尿病内分泌内科・スポーツ内科 原知之 先生</p>

## 第 60 号 2020 年

主催：城西大学薬学部

城西国際大学薬学部

共催：日本薬剤師研修センター

城西大学薬友会

城西大学同窓会

TJUP：埼玉東上地域大学教育プラットフォーム

協賛：公益社団法人 日本薬学会

一般社団法人 埼玉県薬剤師会

一般社団法人 埼玉県病院薬剤師会

一般社団法人 日本女性薬剤師会

後援：城西大学父母後援会

城西大学薬学協力会

埼玉県坂戸市けやき台 1-1

Tel. 049 (271) 7795

